

草加のココが聞きたい！

一 般 質 問

一般質問とは、定例会において議員個人が市政一般について市長などの執行部の考えや、方針を質問するものです。そうか市議会だよりでは、一部の質問を取り上げて要旨を掲載しています。(掲載は発言順です)
 なお、草加市議会では、正・副議長、監査委員、議会運営委員会委員長は一般質問等の発言が制限されています。



9月定例会では12人の議員が一般質問をしました！

一般質問の内容は草加市議会ホームページの議会中継(録画放映)からご覧になることができます。また、議会中継のページでは、①「**発言通告の内容などでキーワード検索**」ができるほか、②「**議員名**」や③「**会派名**」ごとに閲覧することができます。



令和4年度の国民健康保険税の見直しの先送りは

無所属 大里陽子 議員

問 令和4年度における保険税の見直しについては。

答 6月定例会において、決算の確定した段階で収支がプラスになれば、令和4年度に予定している保険税の見直しの先送りの可能性は十分にあるものと考えていると答弁しており、今回、令和2年度決算の繰越金の一部を財政調整基金に積み立てており、令和4年度の保険税の見直しにつ

いては先送りを予定している。



災害に備え防災士資格を市民に対し活用や補助する考えは

立憲民主党 矢部正平 議員

問 草加市が抱える課題。防災活動の担い手不足が懸念され、若者や女性の活動参加を図る必要があると草加市地域防災計画に記載されている。参加促進のため、災害対応に興味がある市民や学生などを対象に、防災士の資格取得の補助制度を設ける考えは？

答 地域における防災力向上の担い手になると認識しており、防災士が地域で参加でき

る環境を創出するため、自主防災組織に対し、防災士の資格取得のための助成金交付を積極的に検討していく。

問 公共交通機関で子どもの泣き声でトラブルになるニュースを見るが、避難所での赤ちゃんの夜泣きなど配慮が必要な方の避難について何う。

答 避難所のさらなる整備に向けた支援体制づくりに努める。



子どもの学習支援事業の受け入れ定員数の拡大を！

立憲民主党 菊地慶太 議員

問 本事業は、生活困窮世帯等を対象に、子どもたちへの学習支援だけでなく、居場所づくり、保護者への養育支援など、子どもたちの将来の自立に向けた包括的な支援を行っている重要な事業である。しかし、コロナ禍の影響で利用希望者7名が待機となり利用できていない。

広い会場に変更するなどし、定員数を拡大すべきでは？

答 中高生向けの学習教室は、本年12月以降に広い会場に変更できるよう調整する。また、課題プリントの郵送やオンラインでの学習支援などを活用することで、多くの小・中学生が利用できるようにしていく。

次年度以降は、小学生の家庭訪問ニーズが高いことから、定員数の拡大について検討する。



自転車を活用したまちづくり、観光の促進について

公明党 広田丈夫 議員

問 自転車については、困り事の対応の施策ばかりだけではなく、よりよいまちづくりに欠かせないツールとして積極的な施策を推進すべき。特に観光については、草加のよさの再発見により、市民の当事者意識につながり、町会活動、防災活動、まちづくりの意識の向上につながる事が期待される。そういう意味からも、積極的に推進すべき。

答 市民の皆様には草加のまちに愛着と誇りを持っていただけられるよう、市外からお越しになる方には草加市の魅力を感じていただけるよう、自転車で巡る観光スポットの構築をしていく。

